

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○歴史文化遺産の計画的な整備や歴史・文化を体験できる行催事等の推進
主な取組	首里城公園の観光資源としての活用		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・県営公園内の中城御殿跡や円覚寺跡等の歴史文化遺産の計画的な整備や、歴史・文化を体験できる行催事等を推進し、首里城公園の魅力の向上を図るとともに、御茶屋御殿等の地域に点在する文化資源の段階的な整備について、事業主体や保存に係る調査等の課題解決に向けて、那覇市、国と連携して実現可能な方策や観光資源としての利活用の検討に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促す。	国,県,那覇市,指定管理者,民間事業者等	首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載		
		イベント等後援の実施		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	-			予算事業名	-		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
-	-			主な財源	実施方法	当初予算額	
-	-			-	-		
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促した。				首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促す。			
活動指標名	イベント等後援の実施		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和4年10月29日～11月3日まで開催された「令和4年度 首里城復興祭」について後援を行った。
	-	-	実施	実施	100.0%	順調	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
首里城公園に関するイベントについて1件以上の後援を行い、目標を達成した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
-				「沖縄県の観光振興を図る行催事の共催等に関する取扱要領」の基準を用い、沖縄の観光の振興に効果がある、かつ適当と認められるイベントに対し後援を行った。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルスの収束及び首里城の復興を見据え、イベント等も開催しやすくなっている。	⑧ その他	引き続き首里城に関するイベント等の後援を行い、首里城公園の観光資源としての活用を促す。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	③首里城に関する文化財等の保護・復元・収集
			施策の小項目名	○被災した文化財等の修復・復元や琉球王朝時代の文化財等の所在調査
主な取組	琉球王国時代の文化財等の調査研究、史料収集		対応する成果指標	首里城関係文化財のWEB公開の累計アクセス件数
施策の方向	・関係機関と連携の下、被災した文化財の修復・復元や国内外に所在する琉球王朝時代の文化財等の所在調査に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
先の大戦後、様々な理由で流出した琉球王国時代の文化財の調査研究の実施、調査研究の内容に関する展覧会等を行い、琉球王国関係文化財の価値をアピールする。	県	県内外の文化財の調査研究及び王国文化の発信の取組		
		年間を通じた情報収集の成果発表報告会等の開催回数(累計)		
		—	2回	2回(4回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	在外琉球王国文化財調査研究事業			予算事業名	在外琉球王国文化財調査研究事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	0	100	県単等	委託	4,711
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>沖縄県立博物館・美術館で流出文化財の調査研究に関するパネル展を実施し、失われた琉球王国文化財の価値をアピールした。</p>				<p>様々な理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査を行う。この調査結果をまとめ、県民向けの調査報告会を実施する。</p>		

活動指標名	年間を通じた情報収集の成果発表 報告会等の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	—	—		順調	<p>コロナ禍に鑑み、アメリカでの調査ではなく、流出文化財の調査研究に関するパネル展を1回実施 (会期：10/4～10/30) した。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、アメリカの博物館等での現地調査を断念したが、コロナ禍を鑑み、アメリカでの調査ではなく流出文化財の調査研究に関するパネル展を1回実施した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍を鑑み、令和4年度は流出文化財の調査研究に関するパネル展を1回以上開催し、在外の琉球王国関係文化財の価値をアピールする。 ・ また、引き続き新型コロナウイルスの感染状況及び海外渡航に係る情報収集の把握に努める。あわせて、調査予定の博物館等との連絡体制を維持し、調査体制の構築に万全を期す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度は流出文化財の調査研究に関するパネル展を1回開催し、在外の琉球王国関係文化財の価値をアピールした。 ・ また、引き続き新型コロナウイルスの感染状況及び海外渡航に係る情報収集の把握に努め、令和5年度から現地調査を開始するため、調査予定の博物館等との連絡体制を維持した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>新型コロナウイルスの感染状況及び海外渡航の可否や調査予定の博物館等の調査受け入れ状況について、情報収集や連絡体制を継続する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>新型コロナウイルスの感染状況及び海外渡航に係る情報収集の把握に努める。あわせて、調査予定の博物館等との連絡体制を維持し、調査体制の構築に万全を期す。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	④首里城に関連する伝統技術の活用と継承
			施策の小項目名	○最新デジタル技術等を活用した伝統技術の継承
主な取組	戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産の復元		対応する成果指標	工芸技術研修（漆芸・木工）累計修了者数
施策の方向	・琉球王朝時代から伝承された伝統技術について、最新デジタル技術等を活用した伝統技術の継承に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積し、王国時代の手わざを現代の最高水準の手わざで復元する。また、模造復元品を通して、世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。	県	復元製作基本設計		試作品製作
		復元製作に関する取組の実施		
		復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	試作品制作 15件
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業			予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	64,995	14,802	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	18,352
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
9分野の監修者会議を開き、模造復元候補の選定と効果的な発信の検討内容を盛り込んだ基本設計書を作成した。また本事業の報告会を1回開催した。				9分野の監修者会議を実施し、より実現性の高い模造復元候補の絞り込み(35件)と具体的な発信方法を盛り込んだ実施設計書を作成する。		

活動指標名	復元製作に関する取組の実施		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	<small>復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催</small>	<small>復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催</small>	100.0%	順調	戦災等によって失われた琉球王国時代の文化遺産に係る模造復元品製作と発信業務の9分野の監修者会議(18回)を実施し、基本設計を作成した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>平成27年度から令和3年度に取り組んだ65件の模造復元品製作と展覧会等の発信業務を受けて、令和4年度から令和11年度にかけて新たな模造復元品製作と発信業務に取り組むため、令和4年度は8分野（絵画・木彫・石彫・漆芸・陶芸・染織・金工・楽器）の模造復元品の製作と発信業務1分野（合計9分野）の監修者会議を18回開催し、有識者からの意見等を反映し、基本設計書を作成した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用促進のため、模造復元資料の展覧会等や製作工程で得られた知見等を発表する報告会等を県内外で開催することに加え、ウェブ配信や広報メディアを活用した効果的な発信を行う。 ・琉球王国文化を体系的に理解し効果的に発信するため、県内外に散在する文化財を継続して調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用促進のため、模造復元資料の展覧会等や製作工程で得られた知見等を発表する報告会等を県内外で開催することに加え、ウェブ配信や広報メディアを活用した効果的な発信を行うことを基本設計書に盛り込んだ。 ・令和4年度には179件の県内外に散在する文化財を調査した。次年度以降も琉球王国文化を体系的に理解し効果的に発信するため、調査を継続する予定である。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	模造復元に関して、昨今の社会情勢の変化による原材料の枯渇や高騰に留意した原材料の確保が必要である。また、工芸関係者や職人等の製作者の確保が課題である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	模造復元の製作工程等を広く紹介するための発信方法を工夫する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討した上で優先順位をつけ、より実現性が高い模造復元対象資料を絞り込む。
⑤ 情報発信等の強化・改善	模造復元の製作工程等を広く紹介するための効果的な発信方法を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	琉球歴史文化への理解を深め普遍的価値の再発見		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	<p>・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテインメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歴史・文化関連事業及び催物の開催に関する情報を発信する。	県,市町村,民間団体	歴史・文化関連事業及び催物の開催		
		歴史・文化関連事業及び催物件数(累計)		
		100件	110件(210件)	120件(330件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業			予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	12,823	10,155	県単等	委託	17,752
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。		

活動指標名	歴史・文化関連事業及び催物件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	105件	100件	100.0%	順調	市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を県民自らの手で創造していくことを図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	県のみならず市町村や関連団体等に幅広く取組を募ることにより、目標達成に大きく寄与した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和3年度から同取組を行っているが、「琉球歴史文化の日」の県民の認知度が低い。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、市町村や関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	<p>・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテインメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 地域伝統文化の継承・発信支援事業				予算事業名 地域伝統文化の継承・発信支援事業			
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	7,414	6,724	県単等	委託	6,075	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催した。				地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催する。			
活動指標名	地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	2回	3回	2回	3回	66.7%	やや遅れ	県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとぅば等の普及・継承についての座談会を2回開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
地域における旧正月の伝統行事や伝統芸能を取り上げ、文化の継承をテーマに座談会を行った。当初は3回を予定していたが、2回の開催となった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウムや、地域の伝統芸能を集めた公演を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底の上で開催する。 地域の伝統芸能等に関するテーマを1つ取り上げた講演会を開き、複数の地域を招いて情報交換の場を提供することで、県民1人1人が自身の地域の伝統文化を見つめ直すよう機運醸成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でシンポジウムを座談会に変えて行い、Web発信することで遠方からもアクセスがあるなど、これまでとは違った方面にアピールすることができた。「特選 沖縄の伝統芸能」では短時間にお客様が殺到することから、物販を中止し、席もすべて指定席にするなど工夫した。調査事業でも各地域でそれぞれ課題が出てきた。 地域の伝統芸能等に関する講演会については、コロナ禍により開催できていない。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各地域の特色・違いを再発見してもらい、愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウムを開催する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会等を開催する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	<p>・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテインメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県、市町村、関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数(累計)		
		12件	12件(24件)	12件(36件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球文化日本遺産事業			予算事業名	琉球文化日本遺産事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担		1,400	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	1,400
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図った。				琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図る。		

活動指標名	Webサイトでの情報発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		—	—	11件	12件	91.7%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図ることにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体が主催のイベント等の情報発信を併せて行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和6年度に日本遺産認定継続の審査を控えており、引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく必要がある。	⑧ その他	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・ 伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、旅行商品造成プログラムモデルを構築する。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託	0	27,409	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	26,050	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援した。				沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援する。			
活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による 伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		順調
	0公演	0公演	2公演	1公演	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援することで、観光客が沖縄の歴史文化を体験できる機会を創出できた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	有識者によるワーキンググループを10回開催し、芸能団体に対して助言やアドバイスを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光客の割合を増やすための取り組みが必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	旅行会社などの意見を取り入れながら、文化資源を観光コンテンツとして商品化する仕組み作りを引き続き行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア 首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
		施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	伝統芸能の県外公演	対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・ 伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発進力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、世界で活躍できる人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】	関連URL	-	

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域の文化芸術振興事業			予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	0	4,000	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	4,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、県外公演として東京都で琉球舞踊を1公演実施し、230名が参加した。				令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施する予定である。		

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		0公演	0公演	1公演	1公演	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナの感染状況等を注視し、公演開催が困難な場合の代替策として動画配信等の準備を行いつつ、事業を実施した。大都市である東京都で本県の伝統芸能を発信する機会を創出でき、盛況であった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・新型コロナウイルス感染症蔓延等社会情勢の変化に柔軟な対応ができる団体へ委託することで、引き続き県民の鑑賞機会の提供を行う。	・企画提案仕様書に公演実施が困難な場合の代替策を提案するよう盛り込んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	事業応募件数が少なかった。(1団体)	⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の公募について、広報周知を強化し、応募団体数を増やす。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	既存の民間主体の舞台公演も多数実施されている地域において、文化力の発信強化につながったのか検証が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	昨年度実績ベースの客席数200席を条件とし、大都市圏以外での開催も可能とする。
		⑧ その他	公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・ 伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能の海外公演	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		—	1公演	1公演(2公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域の文化芸術振興事業			予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	0	0	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	14,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えた。				文化の発信力強化、文化交流の拡大、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を1回開催し、県内の文化芸術団体を派遣する。		

活動指標名	文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0公演	0公演	0公演	—	0.0%	順調	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

実施計画においても、令和4年度は目標値を設定していないため、進捗状況としては順調とした。令和4年度は県外公演を実施し、本県文化の発信力強化や人材の育成に効果があったものと考えている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化の更なる振興、世界で活躍できる人材の育成という本取組の目的を達成できるよう、海外公演の条件等を整理し、適切な時期に公募を開始する。	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えたため、令和5年度で反映させる。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	本取組の目的を踏まえ、海外公演の条件等を整理し適切な時期に公募を開始する。	① 執行体制の改善	公演地域の選定要件や、公演規模、公演内容等を事業目的を踏まえて検討し、適切な時期に公募を開始する。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の公募について、広報周知の強化を行い、応募団体数を増やす。
		⑧ その他	公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出等
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・異分野・異業種間の連携する仕組みを構築し、多様性・独自性を持つ本県の文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出やおきなわ工芸の杜を活用した商品開発、マーケティング、ブランド力向上等を推進し、沖縄の伝統工芸の魅力や価値向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、旅行商品造成プログラムモデルを構築する。	県	旅行商品造成プログラムモデルの構築		
		プログラムモデル構築件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	—	27,409	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	26,050
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援した。				沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援する。		

活動指標名	プログラムモデル構築件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	2件	2件	100.0%	順調	芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援することで、観光客が沖縄の歴史文化を体験できる機会を創出できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
	有識者によるワーキンググループを10回開催し、芸能団体に対して助言やアドバイスをを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光客の割合を増やすための取り組みが必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	旅行会社などの意見を取り入れながら、文化資源を観光コンテンツとして商品化する仕組み作りを引き続き行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア 首里城の復興	施策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
		施策の小項目名	○文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出等
主な取組	文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発	対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・異分野・異業種間の連携する仕組みを構築し、多様性・独自性を持つ本県の文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出やおきなわ工芸の杜を活用した商品開発、マーケティング、ブランド力向上等を推進し、沖縄の伝統工芸の魅力や価値向上に取り組めます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発する。	県,民間団体	文化資源を活用した取組		
		文化資源を活用したビジネスモデル・商品件数(累計)		
		6件	10件(16件)	10件(26件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業			予算事業名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託	—	34,849	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	42,668	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、6件の取組に支援(補助)を行った。				琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、支援(補助)を行う。			
活動指標名	文化資源を活用したビジネスモデル・商品件数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	順調	琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し支援(補助)を行った。
	0件	0件	6件	6件	100.0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を支援することで、観光客が沖縄の歴史文化を体験できる機会を創出できた。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
—				補助事業の成果報告会を行い、有識者からの助言を補助事業の改善に繋げる取組を実施した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新たなコンテンツを制作する取り組みを行ったが、更なる本事業の認知向上に務める。	⑧ その他	引き続き講演会の開催や事業報告会の開催を行うことにより、本事業の認知度向上を図る。